

産学連携学会 第20回大会

熊本大会

20th Annual Meeting of
Japan Society for Intellectual Production

日時 2022年
6月23(木)日 24(金)日

場所 市民会館シアーズホーム夢ホール
熊本市中央区桜町1-3

主催 特定非営利活動法人
産学連携学会

共催 熊本大学

後援 (順不同) 文部科学省・経済産業省・農林水産省
国立研究開発法人日本医療研究開発機構
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
独立行政法人中小企業基盤整備機構
国立研究開発法人科学技術振興機構
熊本県・熊本市
熊本県工業連合会

大会運営 大会長 小川久雄
熊本大学長

実行委員長 大谷 順
熊本大理事・副学長

プロメテウスの火

人類は火とそして知恵を授かり、しかし未来を知る能力を失った。
代わりに得たのは、希望であった。
今、私たちは破壊と創造の火を燃やす。

産学連携学会ホームページ
<http://j-sip.org/>

産学連携学会第 20 回大会【熊本大会】プログラム

目 次

新型コロナ感染拡大防止について	1
ご参加の皆さまへ	2
会場案内図	4
全体プログラム	5
タイムテーブル	8
発表プログラム	10
ご案内	25

新型コロナウイルス感染拡大防止について

今回、産学連携学会第 20 回大会を対面形式で開催するにあたり、以下の新型コロナウイルス感染防止対策へのご協力をお願い申し上げます。

- ①ご出席の方は、3 回のワクチン接種あるいは参加日の 3 日以内の PCR 検査をお願い致します。いずれも行われていない方に対しては、当日、会場にて抗原検査を行っていただきます（有償：1,500 円）。いずれも行われぬ場合、入場をお断りいたします。
- ②会館内では**不織布三重フィルター以上のマスク着用をお願い致します**。ウレタンマスク・布マスクは不織布マスクとの併用以外はご遠慮ください。もし、お忘れになった場合、受付でお渡ししますので、お申し出ください。※健康上の理由等で既定のマスクができない場合は、参加はお控えください。
- ③会場入口での非接触体温チェック、各会議室入口での手指消毒を行いますので、適宜、ご協力をお願い致します。高濃度アルコールタイプを設置しますのでアレルギー等ある方は各自でご準備いただくか、受付にご相談ください。
- ④発熱や咳、咽頭痛などの症状が生じた場合、出席を御控え下さい。また、咳が続いている方などには、体温測定などのご協力をお願いする場合がございます。
- ⑤入場者が過剰となった場合、入場者制限を行う場合がございます。ご理解のほど、よろしくようお願い申し上げます。
- ⑥**会場内での会話は、できる限りお控えください**。また、発表会場のドアは換気のために開けていますので、会場近隣での会話はご配慮ください。
- ⑦**会場内は食事が禁止されています**。お飲み物を飲まれる際、**マスクを外したまま会話をしないようにご注意ください**。
- ⑧列ができる場合には間隔をあけるよう、ご留意ください。
- ⑨会場で発表者が入れ替わる度に、レーザーポインター、PC 等手が触れる場所の消毒を行います。
- ⑩**ご発表の際もマスク着用の上、マイクをご使用ください**。また、発表者の前に大型のパネルを設置しています。

産学連携学会第 20 回大会【熊本大会】

会 期：2022年6月23日（木）・24日（金）

会 場：市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本市中央区桜町 1-3）

ご参加の皆さまへ

1. 発表要領

■一般講演・オーガナイズドセッション

- 1) 講演番号は、日付、発表ルーム、セッション開始時刻、発表順の各英数字で構成しています。（例 0623B1445-2 発表日：6月23日、B会場、セッション開始：14時45分、発表順：2）
- 2) 各講演は以下の時間で構成される個別口頭発表形式で行います。
発表時間 12分 討論時間 3分 計 15分
- 3) 発表終了 1分前にベルを 1回、発表終了時にベルを 2回鳴らします。討論終了時にはベルを 3回鳴らします。十分な議論ができるよう、発表は 12分以内に収めてください。
- 4) オーガナイズドセッションの時間配分は座長に一任しております。
- 5) 発表時のパソコンの操作は各自で行ってください。

■ポスターセッション（P会場：1F 玄関横ホール）

- 1) ポスター用のパネルサイズは縦 180cm×横 120cm です。これに収まるようにご準備ください。
- 2) 出展者は各自ポスターを会場へ持参し、6月23日（木）13:30までに所定の場所に展示してください。（発表番号の札をご参照ください。）
- 3) ポスターは原則として大会期間中継続して展示します。セッションは6月24日（金）15時30分に終了します。セッション終了後、出展者は各自ポスターを撤去ください。
- 4) 6月24日（金）13:00～14:00をコアタイムとします。この間発表者はポスター前に待機してください

2. 座長の方へのお願い

- 1) 担当するセッションの開始時間 10分前までに会場へお越しください。
- 2) 講演者に対し発表・進行の時間厳守を促してください。
- 3) キャンセルされた講演がある場合には、次の講演を行い、討論の時間配分で調整してください。

3. 昼食

会場併設のレストランおよび周辺の飲食店等をご利用ください。会場内は、新型コロナウイルス感染対策にも照らし合わせ、会場内・ホール・休憩場所を含めて飲食が禁止されています。近隣の「サクラマチクマモト」「桜の馬場 城彩苑」には、多数の飲食店がございますので、そちらのご利用をお願い申し上げます。

4. 大会運営

大会長：小川久雄 学長

実行委員長：大谷 順 理事（研究・グローバル戦略担当）・副学長
・熊本創生推進機構長

大会事務局：産学連携学会第20回大会実行委員会（熊本大学熊本創生推進機構）

事務局：緒方智成

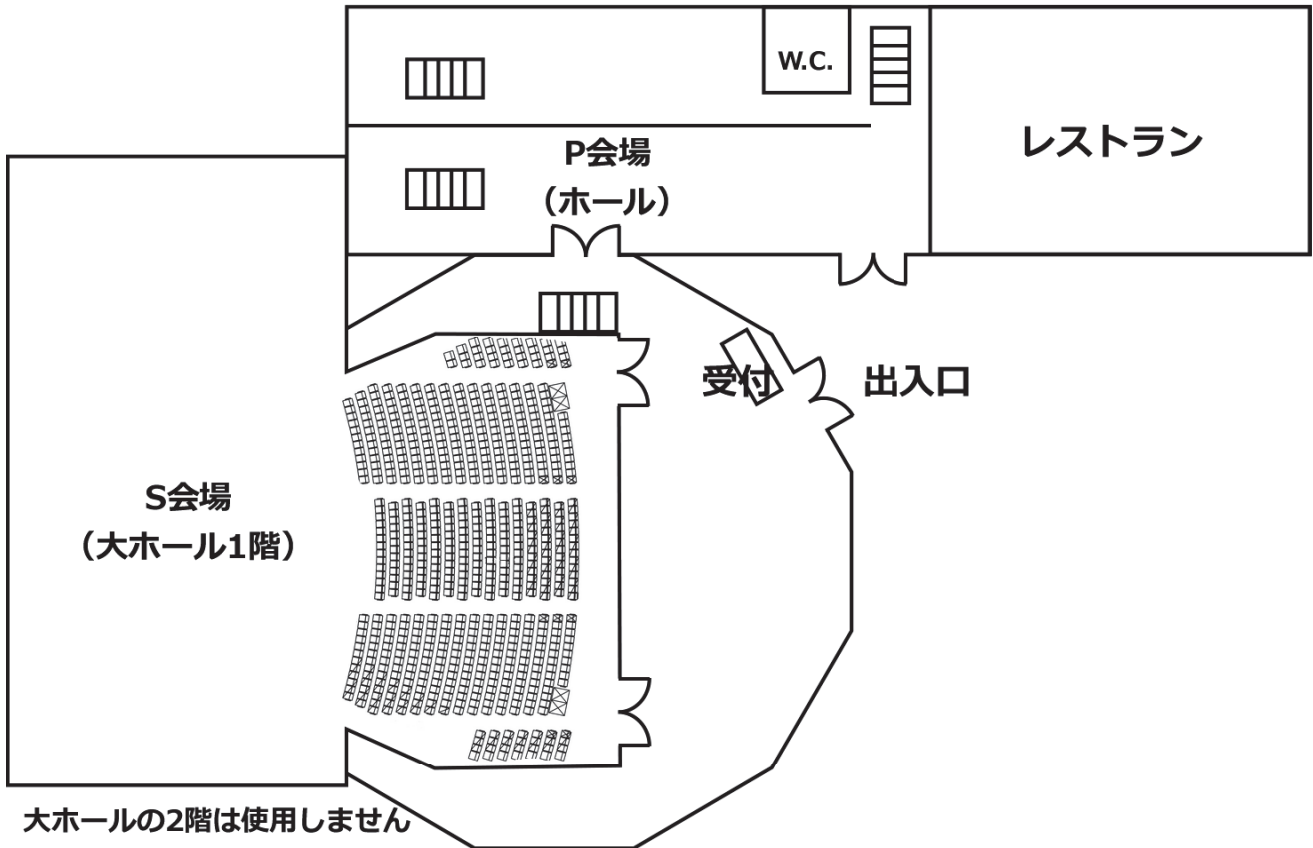
〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-39-1

TEL：096-342-3967

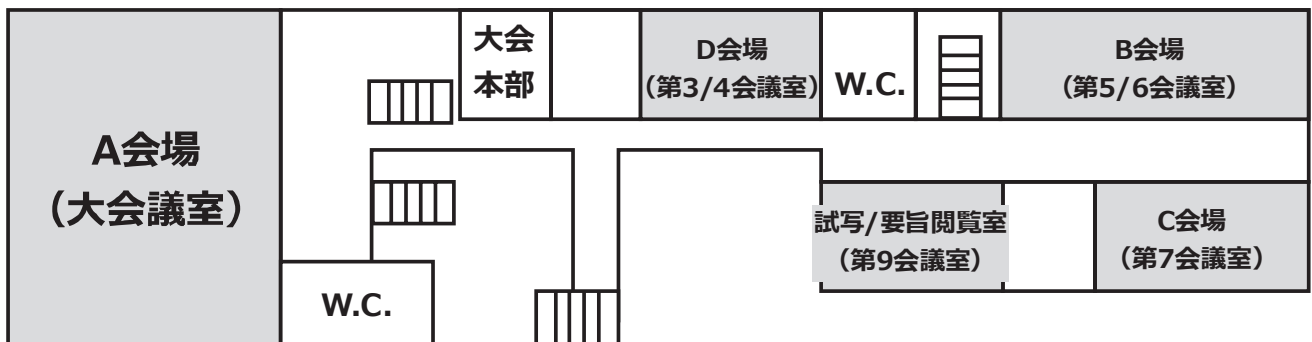
E-Mail：sangaku20th@ku-kico.org

会場案内図

1階 (受付、S会場、P会場)



2階 (A~D会場)



全体プログラム

開 会 式

【日 時】 6月23日（木） 9：00～9：30

【会 場】 S会場（大ホール）

特別講演

【日 時】 6月23日（木） 9：30～10：30

【会 場】 S会場（大ホール）

【講 師】 株式会社熊谷組 九州支店 副支店長 山下正治氏

【テーマ】 「阿蘇大橋地区大規模崩落斜面の対応等について」

シンポジウム

テーマ：「地域における災害対策・災害からの復興」

【日時】 6月23日（木）10：30～12：00

【会場】 S会場（大ホール）

【概要】

熊本県は、2016年の熊本地震、2020年の人吉・球磨水害と立て続けに大災害に見舞われ、そのたびに復興・復旧を行ってきている。現在も続いている復興や復旧における、企業活動、地域活動、体制整備について議論を行う

【パネリスト（敬称略）】

株式会社熊谷組 九州支店 副支店長	山下 正治
九州電力送配電株式会社 熊本支社 副支社長 兼 企画業務部長	渡邊 一重
清流山水花あゆの里 代表取締役社長	有村 充広
熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター センター長	柿本 竜治

【コメンテーター（敬称略）】

文部科学省 科学技術・学術政策局産業連携・地域振興課 拠点形成・地域振興室 室長補佐	齊藤 大地
経済産業省 産業技術環境局 大学連携推進室 室長	大石 知広
農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課 産学連携室 室長	齊賀 大昌

【ファシリテーター（敬称略）】

熊本大学 理事・副学長・熊本創生推進機構長	大谷 順
-----------------------	------

一般講演

- 【日時】 2022年 6月23日(木) 13:30~15:45
6月24日(金) 9:30~15:30
【会場】 A会場、B会場、C会場、D会場

オーガナイズドセッション

1. 高専における人材育成を軸とした産学官協働研究の展開

座長・オーガナイザー：石川洋平（有明工業高等専門学校）

【日時】 6月23日(木) 13:30~15:00

【会場】 S会場

2. 「大学発ベンチャー/研究開発型ベンチャー研究会」発足に向けてのキックオフセッション」

座長・オーガナイザー：宜保友理子（株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ）

【日時】 6月23日(木) 13:30~15:00

【会場】 D会場

3. 若手研究者に必要な支援の在り方～産学連携を経験する意義は？～

座長・オーガナイザー：馬場大輔（経済産業省）

【日時】 6月23日(木) 15:15~16:45

【会場】 S会場

4. 株式会社キャンパスクリエイト 安田耕平社長 メモリアルセッション キャンパスクリエイトが産学官連携に与えた影響とその歴史の回顧

座長・オーガナイザー：伊藤正実（群馬大学）

【日時】 6月24日(金) 10:15~11:45

【会場】 S会場

5. リサーチセキュリティ&リサーチインテグリティ

座長・オーガナイザー：石川綾子（名古屋大学）

【日時】 6月24日(金) 13:15~14:45

【会場】 S会場

ポスター

- 【日時】 2022年 6月23日(木) 13:30~24日(金) 15:30
【会場】 P会場（一階入り口横ホール）

6月23日(木)									
開始時間	大ホール S会場	大会議室 A会場	第5+第6会議室 B会場	第7会議室 C会場	第3+第4会議室 D会場	ホール P会場	開始時間		
9:00	開会式						9:00		
9:30	特別公演						9:30		
10:30	シンポジウム						10:30		
12:00			お昼休憩 (90分)				12:00		
13:30	[OS] 高専における人材育成を軸とした産学官協働研究の展開 石川洋平	酒井武信	産学官連携プロジェクト1 吉用武史	永井明彦 大石博海 大藤康一郎 森進太郎	伊藤裕子 馬場大輔 殿岡裕樹 瀧山 敦		13:30	[OS] 「大学発ベンチャー/研究開発型ベンチャー研究会」発足に向けてのキックオフセッション 宣保友理子	
13:45		山澤 靖	リエゾン活動1 藤枝 繁				13:45		
14:00		成田尚宣					14:00		
14:15		西川洋行					14:15		
14:30	野口卓郎、平井信充、尾形公一郎、久池井茂		休憩 (15分)				14:30	石塚悟史、飯田香緒里、上條由紀子、須江勇介	
14:45		田中敏嗣	産学官連携プロジェクト2 佐藤 暢	北村寿宏			14:45		
15:00	休憩 (15分)	秦 茂則		産学連携論1 竹下哲史	山下幸海		15:00		
15:15	[OS] 若手研究者に必要な支援の在り方 馬場大輔	中村和博			大学発ベンチャー1 片山 精		15:15	松浦佳子 児玉和弥	
15:30							15:30		
15:45							15:45		
16:00							16:00		
16:15	馬場大輔、駒村和彦、平山太市、野田口理孝						16:15		
16:30							16:30		

青字は座長を示します。

6月24日(金)													
開始時間	大ホール S会場	大会議室			第5+第6会議室			第7会議室		第3+第4会議室		ホール P会場	開始時間
		A会場			B会場			C会場		D会場			
9:30		浦原章広	尾内敏彦	服部大輔	尾内敏彦	尾内敏彦	佐藤三郎	佐藤三郎	佐藤三郎	佐藤三郎		9:30	
9:45		手嶋恵美	鹿野京子	有國和子	鹿野京子	鹿野京子	佐藤三郎	佐藤三郎	佐藤三郎	佐藤三郎		9:45	
10:00		中村守彦	片山 精	和田 翼	中田森子	中田森子	杉岡秀紀	杉岡秀紀	杉岡秀紀	杉岡秀紀		10:00	
10:15	[OS]	関口英里	日高悠希		日高悠希	日高悠希	山口光男	山口光男	山口光男	山口光男		10:15	
10:30	株式会社キャンパスクリエイティブ ト安田耕平社長メモリアル セッション	休憩(15分)	休憩(15分)	休憩(15分)	休憩(15分)	休憩(15分)	休憩(15分)	休憩(15分)	休憩(15分)	休憩(15分)		10:30	
10:45	伊藤正美	吉用武史	新谷由紀子	藤枝 繁	新谷由紀子	新谷由紀子	小竹暢隆	小竹暢隆	小竹暢隆	小竹暢隆		10:45	
11:00	高橋めぐみ、木村雅和、湯本長伯	産学官連携プロジェクト4 西川洋行	中武貞文	中武貞文	中武貞文	中武貞文	石塚悟史	石塚悟史	石塚悟史	石塚悟史		11:00	
11:15		飯田 誠	稲田 誠	藤枝 繁	稲田 誠	稲田 誠	生田啓景	生田啓景	生田啓景	生田啓景		11:15	
11:30		落合和希	藤枝 繁	藤枝 繁	藤枝 繁	藤枝 繁						11:30	
11:45		お昼休憩(90分)										11:45	
13:15	[OS]	丹生晃隆	湯本長伯	湯本長伯	湯本長伯	湯本長伯	伊藤正美	伊藤正美	伊藤正美	伊藤正美		13:15	
13:30	リサーチセキュリテイ&リサーチインテグリティ	産学官連携プロジェクト5 崎山智司	産学連携論2 北村寿宏	産学連携論2 北村寿宏	産学連携論2 北村寿宏	産学連携論2 北村寿宏	法令等遵守2 木村雅和	法令等遵守2 木村雅和	法令等遵守2 木村雅和	法令等遵守2 木村雅和		13:30	
13:45	宮林毅	丹生晃隆	金井昌宏	金井昌宏	金井昌宏	金井昌宏	川澄みゆり	川澄みゆり	川澄みゆり	川澄みゆり		13:45	
14:00	村松哲行、佐藤弘基、石川綾子	坂井俊文	中田森子	中田森子	中田森子	中田森子						14:00	
14:15		休憩(15分)	休憩(15分)	休憩(15分)	休憩(15分)	休憩(15分)	休憩(15分)	休憩(15分)	休憩(15分)	休憩(15分)		14:15	
14:30		崎山智司	木村雅和	木村雅和	木村雅和	木村雅和	小野浩幸	小野浩幸	小野浩幸	小野浩幸		14:30	
14:45		具志堅清明	竹下哲史	竹下哲史	竹下哲史	竹下哲史	国際展開1 尾内敏彦	国際展開1 尾内敏彦	国際展開1 尾内敏彦	国際展開1 尾内敏彦		14:45	
15:00		佐藤 暢	田中精一	田中精一	田中精一	田中精一	杉本等	杉本等	杉本等	杉本等		15:00	
15:15			近藤早映	近藤早映	近藤早映	近藤早映	鈴木真也	鈴木真也	鈴木真也	鈴木真也		15:15	

青字は座長を示します。

発表プログラム

一般講演・オーガナイズドセッション

6月23日(木) 第1日目 S会場 13:30~16:45

オーガナイズドセッション

13:30~15:00

高専における人材育成を軸とした産学官協働研究の展開

座長：石川洋平（有明工業高等専門学校）

オーガナイザー： 石川洋平

- 0623S1330-1 “しなやか”なつながりを目指して – 有明高専産学連携マッチングラボ –
○石川洋平（有明高専）
- 0623S1330-2 若手産学連携コーディネータの育成IV – ASK イノベーションラボの誕生 –
○野口卓朗（有明高専）
- 0623S1330-3 鈴鹿高専が進める共同研究の新たな形～産学官協働研究室の最初の設置から4年が経過して
○平井信充（鈴鹿高専）
- 0623S1330-4 大分高専の産学連携の取り組み
○尾形公一郎，笠間俊次（大分高専）
- 0623S1330-5 北九州高専共同研究室の紹介
○久池井 茂（北九州高専）

オーガナイズドセッション

15：15～16：45

若手研究者に必要な支援の在り方～産学連携を経験する意義は？～

座長：馬場大輔（経済産業省）

オーガナイザー： 馬場大輔

- 0623S1515-1 経済産業省の若手研究者支援について
○馬場大輔（経済産業省）
- 0623S1515-2 文部科学省の若手研究者支援について
○馬場大輔（文部科学省）
- 0623S1515-3 若手研究者を取り巻く状況について
○駒村和彦（野村総合研究所）
- 0623S1515-4 地方大学における若手研究者支援と研究支援者の関わり方
○平山太市（茨城大学）
- 0623S1515-5 若手研究者から見た研究支援の在り方と産学連携の絡み方
○野田口理孝（名古屋大学）

6月23日(木) 第1日目 A会場 13:30~15:45

産学官連携プロジェクト1 座長：吉用武史 13:30~14:30

- 0623A1330-1 脱炭素研究に向けた産学連携の取り組み1 ~オープンイノベーション活動について~
○酒井武信、山澤 靖、成田尚宣 (名古屋大学)
- 0623A1330-2 脱炭素研究に向けた産学連携の取り組み2 ~バックキャストした企画型テーマ創生について~
○山澤 靖、成田尚宣、酒井武信 (名古屋大学)
- 0623A1330-3 脱炭素研究に向けた産学連携の取り組み3 ~共同研究への新たな取り組み~
○成田尚宣、山澤 靖、酒井武信 (名古屋大学)
- 0623A1330-4 地域産学官連携を「ヒト」の観点から解き明かす
○西川洋行 (県立広島大学)、林 里織 (山口大学)、荒木寛幸 (文部科学省科学技術・学術政策研究所)、入野和朗 (愛媛大学)

産学官連携プロジェクト2 座長：佐藤 暢 14:45~15:30

- 0623A1445-1 共同研究講座・協働研究所を基盤とする人材育成(1)~工学研究科での取組~
○田中敏嗣、荒平智子 (大阪大学)
- 0623A1445-2 共同研究講座・協働研究所を基盤とする人材育成(2)~大阪大学・島津分析イノベーション協働研究所のREACHラボプロジェクトの事例紹介~
○秦 茂則、田中敏嗣 (大阪大学)、飯田順子 (島津製作所/大阪大学)
- 0623A1445-3 共同研究講座・協働研究所を基盤とする人材育成(3)~NEXCO西日本高速道路学共同研究講座における技術者育成~
○中村和博、小濱健吾 (大阪大学)、田山 聡 (西日本高速道路株式会社)、鎌田敏郎 (大阪大学)

6月23日(木) 第1日目 B会場 13:30~15:45

リエゾン活動 1 座長：藤枝 繁 13:30~14:30

- 0623B1330-1 ネットワークを形成する手法に関する一考察
○永井明彦、中田泰子（北陸先端科学技術大学院大学）
- 0623B1330-2 企業とのマッチングに措ける一考察
○大石博海（長崎大学）
- 0623B1330-3 持続的な「知の良循環」を実現するための医療系研究機関における取組
○大藤康一郎、吉澤英知、船本大起、高橋直子（国立循環器病研究センター）
- 0623B1330-4 産学官連携による地域 DX マインド醸成の取り組み
○森 進太郎（北陸先端科学技術大学院大学）

産学連携論 1 座長：竹下 哲史 14:45~15:45

- 0623B1445-1 中国・四国地方の9国立大学法人における外部資金の受入状況の比較（仮）
○北村寿宏（島根大学）、川崎一正（三条市立大学）、竹下哲史（長崎大学）、秋丸 國廣（愛媛大学）
- 0623B1445-2 地方大学における産学共同研究の実状解明の実証的研究 - 18
○秋丸國廣（愛媛大学）、川崎一正（三条市立大学）、竹下哲史（長崎大学）、北村寿宏（島根大学）
- 0623B1445-3 シンボルマーク『プロメテウスの火』の役割と考察3 - ML等とのメディアミクスから（本）学会のアイデンティティとブランディングを考える
○湯本長伯（社会構造設計研究所）、村上晶子（明星大学）
- 0623B1445-4 産学連携学研究における異種異質連携基盤としての多様性への一考察 - 本学会における支部活動の在り方を例とする考察
○湯本長伯（社会構造設計研究所）、江田英雄（光産業大学院大学）、木村雅和（静岡大学）

6月23日(木) 第1日目 C会場 13:30~15:45

産学官連携政策1 座長：小野 浩幸 13:30~14:30

- 0623C1330-1 国内連携の必要性が高い科学技術の抽出及びその実現による社会的インパクトの分析
○伊藤裕子（文部科学省科学技術・学術政策研究所）
- 0623C1330-2 産学官連携ガイドラインを理解するためのFAQ等の整理について
○馬場大輔（経済産業省）
- 0623C1330-3 地方国立大学における産学連携活動とURA
○殿岡裕樹（琉球大学）
- 0623C1330-4 NEDOにおける新たな産学連携の取り組みー大学との連携強化にむけてー
○瀧山 敦（新エネルギー・産業技術総合開発機構）

大学発ベンチャー1 座長：片山 精 15:00~15:45

- 0623C1500-1 大学発スタートアップ企業を支援するコーディネーターが思う、企業設立後支援の難しさ
○山下奉海（高知大学）
- 0623C1500-2 大学発ベンチャー支援に関する取り組みークロスアポイントメント制度によるURA派遣ー
○松浦佳子（熊本大学）
- 0623C1500-3 広島大学における大学発ベンチャー創出支援について
○児玉和弥（広島大学）

6月23日(木) 第1日目 D会場 13:30~15:00

オーガナイズドセッション 13:30~15:00

「大学発ベンチャー/研究開発型ベンチャー研究会」発足に向けての
キックオフセッション

座長：宜保友理子（株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ）

オーガナイザー：宜保友理子

- 0623D1330-1 高知産学連携キャピタル（GP）と投資組合（LPS）の設立について
○石塚悟史（高知大学）
- 0623D1330-2 医療系アカデミアによるスタートアップ増強に向けた取組み
-TMDU イノベーションパーク（TIP）と medU-net について-
○飯田香緒里（東京医科歯科大学）
- 0623D1330-3 地域金融機関と連携した起業教育について -長崎大学 FFG
アントレプレナーシップセンターの活動紹介-
○上條由紀子（長崎大学）
- 0623D1330-4 起業家による起業家支援について-高知イノベーションベース
の活動紹介-
○須江勇介（高知イノベーションベース）
- 0623D1330-5 大学ベンチャーキャピタルによる研究開発型スタートアップ
支援の取組み -慶應義塾オフィシャル VC：KII の事例を中心に-
○宜保友理子（株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ）

6月24日（金）第2日目 S会場 10:15～14:45

オーガナイズドセッション **10:15～11:45**

株式会社キャンパスクリエイト 安田耕平社長メモリアルセッション

キャンパスクリエイトが産学官連携に与えた影響とその歴史の回顧

座長：伊藤正実（群馬大学）

オーガナイザー：伊藤正実

- 0624S1015-1 安田耕平社長が創出したキャンパスクリエイトの事業モデル
○高橋めぐみ（株式会社キャンパスクリエイト）
- 0624S1015-2 地方国立大学（静岡大学）の産学連携のあゆみ ～故安田社長を偲んで～
○木村雅和（静岡大学）
- 0624S1015-3 故安田社長を悼み『我が国産学連携活動の夜明けを振り返る』
○湯本長伯（社会構造設計研究所長）
- 0624S1015-4 地域共同研究センターの足跡を残す意義について
○伊藤正実（群馬大学）

オーガナイズドセッション **13:15～14:45**

リサーチセキュリティ&リサーチインテグリティ

座長：宮林 毅（名古屋大学）

オーガナイザー：宮林 毅

- 0624S1315-1 研究インテグリティの強化に向けた国内外の動向
○村松哲行（科学技術振興機構研究開発戦略センター）
- 0624S1315-2 リサーチインテグリティ確保のための大学法務機能について
○佐藤弘基（九州大学）
- 0624S1315-3 リサーチインテグリティ確保のための透明化の試案について
○石川綾子（名古屋大学）
- 0624S1315-4 リサーチインテグリティ確保からリスクマネジメントへどうつなげるか
○宮林 毅（名古屋大学）

6月24日(金) 第2日目 A会場 9:30~15:15

産学官連携プロジェクト3 座長：田中敏嗣 9:30~10:30

- 0624A0930-1 ファッション業界におけるデザイン
○蒲原章広、岡田晃行、江田英雄（光産業創成大学院大学）
- 0624A0930-2 地域を巻き込んだ特産品の販売促進 – 福岡有明のりの事例から –
○手嶋恵美（中村学園大学）
- 0624A0930-3 広域産学官連携によるSDGs推進と地域創生
○中村守彦（島根大学）
- 0624A0930-4 新たな時代の地域文化と産業の振興に向けたプロジェクトの試み
○関口英里（同志社女子大学）

産学官連携プロジェクト4 座長：西川洋行 10:45~11:45

- 0624A1045-1 日本カツオ学会10年の足跡
○吉用武史（高知大学）
- 0624A1045-2 マーケットイン型養殖業に向けた青森サーモンのマーケティング調査研究の取組み
○福田 覚、泉 ひかり、永長一茂（弘前大学）、鈴木宏介（株式会社オカムラ食品工業）
- 0624A1045-3 地域気象データと先端学術による戦略的社会共創プロジェクト ClimCORE
○飯田 誠、喜多山 篤、隈 健一、杉山正和、中村 尚（東大先端研）
- 0624A1045-4 A-STEPトライアウトによる復興支援
○落合和希（国立研究開発法人科学技術振興機構）

産学官連携プロジェクト 5 座長：崎山智司 13：15～14：15

- 0624A1315-1 宮崎発「キャラいも」を題材とした実践活動の取り組み（第3報）ープロモーション動画の制作と広報効果の検証ー
○丹生晃隆、恒吉実於、福留駿佑、佐土原雛子、杉村拓志、東久保光汰、山口滯夏（宮崎大学）、木原奈津子（株式会社イート）
- 0624A1315-2 テゲバジャーロ宮崎と宮崎大学による地域連携活動ー「大学生をスタジアムに」ファン獲得に向けた取り組みー
○丹生晃隆、長友萌花、松岡伊穂、岩井駿空、香川百萌子、外岡俊輝（宮崎大学）、鈴木 淳、二村恵太（株式会社テゲバジャーロ宮崎）
- 0624A1315-3 日向夏新品種「いしかわ日向」を題材とした実践活動の取り組みーロゴ・キャラクターデザインの募集と選定ー
○丹生晃隆、岩井駿空、松岡伊穂、香川百萌子、外岡俊輝、長友萌花（宮崎大学）、石川忠信（石川果樹園）
- 0624A1315-4 Web 会議システムを活用した産学官連携教育プロジェクト
○坂井俊文（北海道科学大学）

産学官連携プロジェクト 6 座長：丹生晃隆 14：30～15：15

- 0624A1430-1 産学官連携による宅配便の再配達削減に関する検討（II）
○崎山智司、杉井 学（山口大学）
- 0624A1430-2 沖縄県の産学連携「沖縄科学技術イノベーションシステム構築事業」について
○具志堅清明（公益財団法人 沖縄科学技術振興センター）
- 0624A1430-3 地域の産学官連携による新たな価値創造を目指して ～高知県ネクスト次世代型施設園芸農業～【第2報】
○佐藤 暢（高知工科大学）

6月24日(金) 第2日目 B会場 9:30~15:30

リエゾン活動2 座長：中武貞文 9:30~10:30

- 0624B0930-1 コロナ禍におけるオンラインを活用した少人数・双方向性の研究シーズ紹介
○服部大輔（島根大学）
- 0624B0930-2 北九州市立大学における産学官連携情報の管理 ～CRM（顧客管理システム）の応用～
○有蘭和子（北九州市立大学）
- 0624B0930-3 熊本大学大学情報可視化システム（KU-RESAS）の整備と産学連携活動への効果
○和田 翼、藤山泰成（熊本大学）

リエゾン活動3 座長：永井明彦 10:45~11:45

- 0624B1045-1 南九州・南西諸島域での産学・地域連携活動の事例報告1「事業の全体像とKPI」
○藤枝 繁、中武貞文（鹿児島大学）
- 0624B1045-2 南九州・南西諸島域での産学・地域連携活動の事例報告2「コーディネート支援システム『CosMos』の開発と運用」
○中武貞文、藤枝 繁、永吉弘己（鹿児島大学）
- 0624B1045-3 南九州・南西諸島域での産学・地域連携活動の事例報告3「地域企業の研究開発機会の拡大と研究成果の可視化を目指す『オープン実証ラボ』」
○藤枝 繁、中武貞文、岩元宏毅、前田貴博（鹿児島大学）
- 0624B1045-4 南九州・南西諸島域での産学・地域連携活動の事例報告4「観光に特化したシーズ情報発信 Web サイト『さつつん観光ナビ』」
○藤枝 繁、中武貞文、田代哲朗、平原彰子、前田貴博（鹿児島大学）

産学連携論 2 **座長：北村寿宏** **13：15～14：15**

- 0624B1315-1 産学連携におけるイグイノベーションコンテストの役割と設計 その2－想定される内容・分野の事前分析と先行設計から見たイノベーションへの新しいアプローチ
○湯本長伯（社会構造設計研究所）、村上晶子（明星大学）
- 0624B1315-2 産学連携におけるイグイノベーションコンテストの役割と設計 その3－実施に関わる各事業主体との連携設計から見た我が国イノベーションへの新しいアプローチ
○湯本長伯（社会構造設計研究所）、村上晶子（明星大学）
- 0624B1315-3 学発研究成果が産業界の研究開発及び事業化に及ぼす影響－IGZO 半導体の事例から－
○金井 昌宏（明治大学）
- 0624B1315-4 コロナ禍におけるオープンイノベーションと参加者の意識
○中田 泰子（北陸先端科学技術大学院大学）

産学連携論 3 **座長：湯本長伯** **14：30～15：30**

- 0624B1430-1 地域イノベーションエコシステムの確立について
○木村雅和（静岡大学）
- 0624B1430-2 地方大学における産学共同研究の実状解明の実証的研究－19
○竹下哲史（長崎大学）、北村寿宏（島根大学）、秋丸國廣（愛媛大学）、川崎一正（三条市立大学）
- 0624B1430-3 新しい共同研究経費の効果に関する考察
○田中精一、湊かおる（広島大学）
- 0624B1430-4 リビングラボ活動の本質－連携から共創へ－
○近藤早映（三重大学）、折笠雄司（いわき市）、牧原 出、小泉秀樹、飯田 誠（東京大学）

6月24日(金) 第2日目 C会場 9:30~15:30

大学発ベンチャー2 座長：中田泰子 9:30~10:30

- 0624C0930-1 学生ベンチャー創業とアントレプレナー教育の関係性に関する事例研究
○尾内敏彦、尾崎典明、五十嵐浩也、西野由高（筑波大学）
- 0624C0930-2 教員兼業及び受託・共同研究契約の可否が大学発ベンチャー数に与える影響に関する研究 ー大学発ベンチャー支援アンケートの結果からー
○鹿野京子、小野浩幸、野田博行、中島健介、落合文吾（山形大学）
- 0624C0930-3 研究者との共創によるスタートアップ創出活動
○片山 精、矢野卓真、江龍修（名古屋工業大学）
- 0624C0930-4 創薬ベンチャー支援について
○日高悠希（熊本大学）

法令等遵守1 座長：河合孝尚 10:45~11:30

- 0624C1045-1 大学における利益相反問題の具体的事例調査
○新谷由紀子、菊本 虔（筑波大学）
- 0624C1045-2 システムを利用した利益相反自己申告の申告率に関する分析
○高宗暢暁、桑田 誠（熊本大学）
- 0624C1045-3 自ら考える研究倫理
○稲岡美恵子（鳥取大学）

法令等遵守 2 座長：木村雅和

13：15～14：15

- 0624C1315-1 技術のみなし輸出に関する法令改定の研究教育活動に対する影響について
○伊藤正実（群馬大学）
- 0624C1315-2 大学での「みなし輸出」管理に関する Q&A ツールの開発
○河合孝尚（事業構想大学院大学）、昆 健志（琉球大学）
- 0624C1315-3 適切な共同・受託研究契約締結のためのマネジメント
○川澄みゆり、飯田香緒里（東京医科歯科大学）

国際展開 1 座長：尾内敏彦

14：30～15：30

- 0624C1430-1 産学連携担い手組織の日韓比較
○小野浩幸（山形大学）、木村雅和（静岡大学）、李 素婷（山形大学）
- 0624C1430-2 パンデミックにおけるグローバルヘルスへの貢献のための産官学連携の取り組み
～国際臨床試験を通じた医療プロダクト開発支援の事例と経験から～
○市川雅人（国立国際医療研究センター）
- 0624C1430-3 留学経験を活かしたベトナムの日本人向けお土産開発に関する一検討
○杉本 等、グエン ティー ラム スオン（事業創造大学院大学）
- 0624C1430-4 外国拠点と国際産学連携
○鈴木真也（武蔵大学）

6月24日（金）第2日目 D会場 9:30～11:30

人材育成1 座長：石塚悟史 9:30～10:30

- 0624D0930-1 コロナ禍を逆手に取った有明高専版キャリアデザインの取組
○佐藤三郎、太田順一郎、野口卓朗、城門寿美子、石川洋平（有明高専）
- 0624D0930-2 木材や森林の利活用を題材とした SDG's 教材を用いた実践型キャリア教育
○佐藤三郎（佐賀大学）、古賀晋一郎、中村展章（株式会社中村製材所）
- 0624D0930-3 産学公連携による起業家育成と地域づくりーNEXT 産業創造プログラムを事例にー
○杉岡秀紀（福知山公立大学）
- 0624D0930-4 産学連携による MOT 教育 PBL の実践について
○山口光男（福井大学）

人材育成2 座長：佐藤三郎 10:45～11:30

- 0624D1045-1 ものづくりの中核人材育成と大学の役割ーエクステンション事業の持続性の視点からー
○小竹暢隆（ヒューマンウェア・ネットワーク推進機構）
- 0624D1045-2 土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業（土佐 FBC）における研究開発人材の育成
○石塚悟史（高知大学）、堀江真美（株式会社 Maltima）、前田泰史（カフェデュグラス）、西 はる代（株式会社 NIS）、山本博志（くだものの山長）
- 0624D1045-3 知財教育実践プログラムの芸術系短期大学への展開事例（続報2）
○生田容景（山口大学）、長田和美（山口芸術短期大学）

6月23日 P会場 常設

ポスター発表

コアタイム：6月24日 13:00-14:00

- ポスター1 大学発ベンチャーにかかる組織的取組 ～岡山大学 IMaC ベンチャー支援フィールドの事例～
○松島和季、前原有也美、宮崎 悟（岡山大学）
- ポスター2 地域連携型長期 PBL 授業の開発（Ⅲ） ～プロジェクト型課題解決研究プログラムコース～
○崎山智司、高橋実沙、中野亜紀、山中 武、横山智香（山口大学）
- ポスター3 地域連携型長期 PBL 授業の開発（Ⅳ） ～プロジェクト型課題解決研究オリジナルコース～
○崎山智司、谷増大悟、田中陽菜、椎原杏香、多田裕紀、恒吉みさき（山口大学）
- ポスター4 JST 産学連携事業のご紹介と成果事例について
○遠藤麻里（国立研究開発法人科学技術振興機構）

国内最大規模の産学マッチングイベント
出展数が更に拡大！

今年もオンライン開催決定

閲覧
無料
参加登録有

イノベーション Innovation JAPAN 2022

大学見本市&ビジネスマッチング Online

隙間時間で
お手軽に

いつでも

どこでも

何度でも

時間をかけて
じっくりと

今年も大学見本市Onlineで
大学等の最新技術シーズを発見しよう！

ここに
注目！

気になるその内容は…

- ✓ 日本全国の大学等から出展された技術シーズが閲覧可能
- ✓ 出展技術シーズは
大学等機関イチ押し&すべて知的財産権取得済み
- ✓ 出展数は過去最大！多種多様なオンラインセミナーも開催予定

※掲載内容は予定であり、実際の開催時には変更となる場合があります。

一般公開期間

2022年10月4日 火 ~ 10月31日 月

主催

JST 国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

共催(予定)

文部科学省
経済産業省

NEDO 国立研究開発法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構

大学等シーズ展示出展募集！
大学等の皆様からのエントリーをお待ちしております

開催概要・
出展募集詳細

<https://www.jst.go.jp/tt/fair/>

※「イノベーション・ジャパン 2022」のURLではなく、開催概要や大学見本市への出展募集を掲載したページとなります



お問合せ

国立研究開発法人科学技術振興機構 産学連携展開部 産学連携プロモーショングループ
イノベーション・ジャパン~大学見本市担当 25
entry@jst.go.jp

新技術説明会

New Technology Presentation Meetings!

発明者自ら実用化を展望した技術説明を行い新たな産学連携を創出！

大学等の最新技術と出会う！ 「新技術説明会」の特長

- ✓ 未公開特許発表
- ✓ ビジネスマッチングを意識したプレゼンテーション
- ✓ 個別相談会会場を併設（実開催時）
- ✓ 4万通以上の開催案内メールを企業等へ配信
- ✓ 発表資料を Web サイトに掲載

充実のプレゼン資料さらに発表動画も 開催予定・実績

分野別に最新100件の発表も表示。
是非ご覧ください。

開催予定・実績
<https://shingi.jst.go.jp/list.html>

多くの研究機関に発表の場を提供 3つの開催形式

より多くの研究機関が技術を発表できるように、
複数の開催形式を用意しています。

単独開催

ひとつの研究機関が
単独で開催

合同開催

複数の研究機関が技術を
持ち寄り、合同で開催

JSTシーズ

JSTの事業から生まれた
技術を事業ごとに開催

数字で
読み解く！

新技術説明会

New Technology Presentation Meetings!

発表技術数

2,007件

平成 28 年度から令和元年度までの発表数。

マッチング率

48.2%

平成 28 年度から令和元年度までに発表された
2,007 件の技術のうち、968 件が「共同研究」「技
術指導」「サンプル提供」「研究会発足」「ライ
センス」といったマッチングに繋がっていま
す。

開催数

323回

平成 28 年度から令和元年度までの開催数。

平均聴講者数

166.1人

平成 28 年度から令和元年度までに発表された 2,007 件の
プレゼンテーションの平均聴講者数

新技術説明会を読み解く数字は他にも！

詳しくは新技術説明会ホームページにて

📢 JST はオンライン開催で産学連携を支援します

全国
どこからでも
参加可能！！

新技術説明会は令和4年度もオンライン開催を実施します。
プログラム続々更新中、Webサイトを Check !

<https://shingi.jst.go.jp>



国立研究開発法人

科学技術振興機構

Japan Science and Technology Agency

産学連携展開部

産学連携プロモーショングループ

革新的・挑戦的な技術シーズを募集！

NEDOでは、革新的・挑戦的な技術シーズを発掘し、
国家プロジェクトの他、企業との共同研究に発展させることを目指します



NEDO先導研究プログラム

NEDO先導研究プログラムは、脱炭素社会の実現や、マテリアル・バイオ分野を含む新産業創出に結びつく有望な技術シーズを発掘・育成し、将来の国家プロジェクトにつなげていくことを目指します。**2022年夏頃に、情報提供依頼（RFI）を行います。**

<概要>

https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100100.html

情報提供依頼（RFI*）

*RFI: Request for Informationの略

RFIの対象

：大学、国研、企業、ベンチャー等（法人／個人）

募集期間

：2022年夏頃（1～2ヶ月の予定）

内容

：2040年以降（研究開発開始後15年～20年以上先）の社会実装を見据えた革新的な技術シーズを募集します。
対象技術分野は、エネルギー・環境分野、マテリアル・バイオを含む新産業創出に結びつく産業技術分野とします。



委託先の公募
（2023年1月頃）

RFI等を踏まえ
公募課題を決定



先導研究プログラム

官民による若手研究者発掘支援事業（若サポ）

実用化に向けた研究を行う大学等の若手研究者（45歳未満）を発掘し、若手研究者と企業との共同研究等の形成を促進する等の支援をすることにより、次世代のイノベーションを担う人材を育成するとともに、我が国の産業技術力向上に貢献することを目指します。

<概要>

https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100166.html

NEDO

助成

若手研究者
（大学等）
（45歳未満）



NEDO

民間企業のニーズに合わせた研究シーズの課題克服を伴走支援し、共同研究まで橋渡し。

マッチング
サポートフェーズ



民間企業



民間企業との共同研究等を実施する若手研究者に、企業からの共同研究等費と同額を上限に支援。

共同研究
フェーズ

共同研究等

若手研究者発掘支援マッチング
プラットフォーム

若手研究者が有する研究シーズを紹介する専門サイトを開設しています

<https://wakasapo.nedo.go.jp/>



マッチングで 世界を変える

リンカーズ株式会社は、
「イノベーションの推進」
「オープンイノベーションの推進」をサポートする
複数サービスを展開しております

- Service - サービス

Linkers Sourcing

多くの候補から、スピーディに、
最適なパートナーを探したいなら

Linkers Marketing

独自ネットワーク x マッチングで
5つの価値を提供

Linkers Research

専門家ネットワーク x IT を活用して
目的に合致した技術情報を届ける

TechMesse

技術課題軸の検索で、異業種からの
リード獲得を実現

TechMesse Academy

技術・サービスのプロモーションイ
ベントをトータルコーディネート

LFB

導入機関の膨大な集合知を最大化し、
戦力に

リンカーズ株式会社 Linkers Corporation

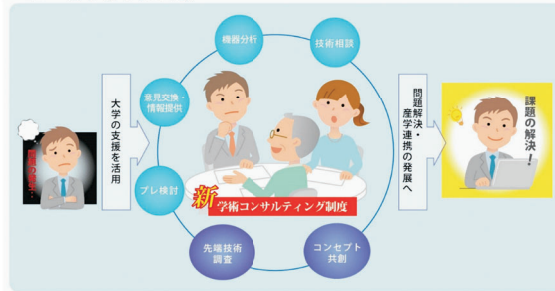
〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-21 住友不動産飯田橋ビル6階
Tel. 03-6822-9580 (代表) E-mail. marketing@linkers.net
<https://corp.linkers.net/>



学術コンサルティング制度とは？

「学術コンサルティング」は、企業等の幅広い課題・要望に対し、熊本大学の教職員が助言や指導、新事業の創出支援、技術調査、課題解決を行う新たな産学連携制度です。

企業等の事業化や産学連携の検討における様々なステージで生じる課題に対応できるよう多彩なメニューを準備しました。



学術コンサルティングのメニュー

実施する内容と期間により中長期的タイプと短期的タイプの二種類があります。

タイプ	メニュー	内容	契約の形態	最低契約額
中長期	コンセプト共創	企業の新規事業の企画や実現に向けた計画立案を支援します。	契約 ※協議可	100万円
	先端技術調査	先端研究を国内外で調査し事業計画等に有益な情報を提供します。		
短期	プレ検討	共同研究実施前に技術的可能性を検証します。	約款 ※修正不可	20万円
	技術相談	技術課題・経営課題に対し解決策等をアドバイスします。		
	情報提供	専門分野の研究動向の開設、情報提供、意見交換を行います。		
	機器分析	機器測定・測定結果の解説を行います。		

学術コンサルティングにかかる経費の算定

学術コンサルティングにかかる経費は、①コンサルティング費（指導料）、②必要経費、③間接経費（①と②の合算の30%）の合計の金額になります。

直接経費	①コンサルティング費	職級と受託内容により決定する時間単価と要する時間から算定 ※ 時間単価：2万～5万円/時間担当者及び内容により調整
	②必要経費	人件費、旅費、消耗品代、機器・設備使用料 など
間接経費	③直接経費の30%	

お問い合わせ先

国立大学法人熊本大学 熊本創生推進機構 イノベーション推進部門
TEL : 096-342-3145 FAX : 096-342-3300
E-Mail : liaison@jim.kumamoto-u.ac.jp

熊本大学 五高記念館

お問合せ 第20回 大会事務局

Phone 096-342-3967 緒方

E-Mail ²⁹sangaku20th@ku-kico.org